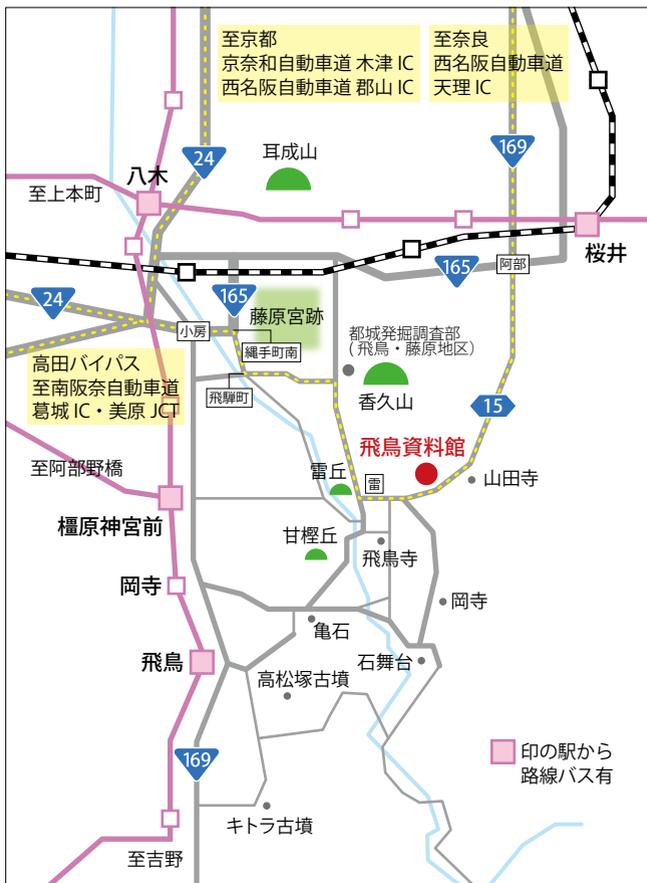


## 交通

- 近鉄橿原神宮前駅、飛鳥駅から  
明日香周遊バス「かめバス」で飛鳥資料館下車。
- JR・近鉄桜井駅から  
石舞台行きバスで飛鳥資料館下車。
- 南阪奈自動車道 葛城ICから 約30分  
西名阪自動車道 天理ICから 約40分  
京奈和自動車道 橿原北ICから 約25分



## 利用案内

- 開館時間 ● 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
- 休館日 ● 月曜日(祝日と重なれば次の平日)  
12月26日～1月3日
- 入館料 ● 一般:350円、大学生:200円  
高校生および18歳未満:無料

# 飛鳥資料館

独立行政法人 国立文化財機構  
奈良文化財研究所



〒634-0102 奈良県高市郡明日香村奥山601  
TEL (0744) 54-3561・FAX (0744) 54-3563  
<http://www.nabunken.go.jp/asuka/>

## ようこそ、飛鳥資料館へ

7世紀の飛鳥は、日本の政治・文化の中心でした。  
1400年の歳月をへて田園風景になった  
飛鳥の地中には「日本書紀」の舞台となった  
数々の遺跡が眠っています。  
今日もあちらこちらで発掘の風景が見られ、  
新しい歴史の証拠が発見されようとしています。  
当資料館では、こうした発掘資料を中心に、  
最新の飛鳥研究の成果を  
分かりやすく展示しています。



## 第一展示室

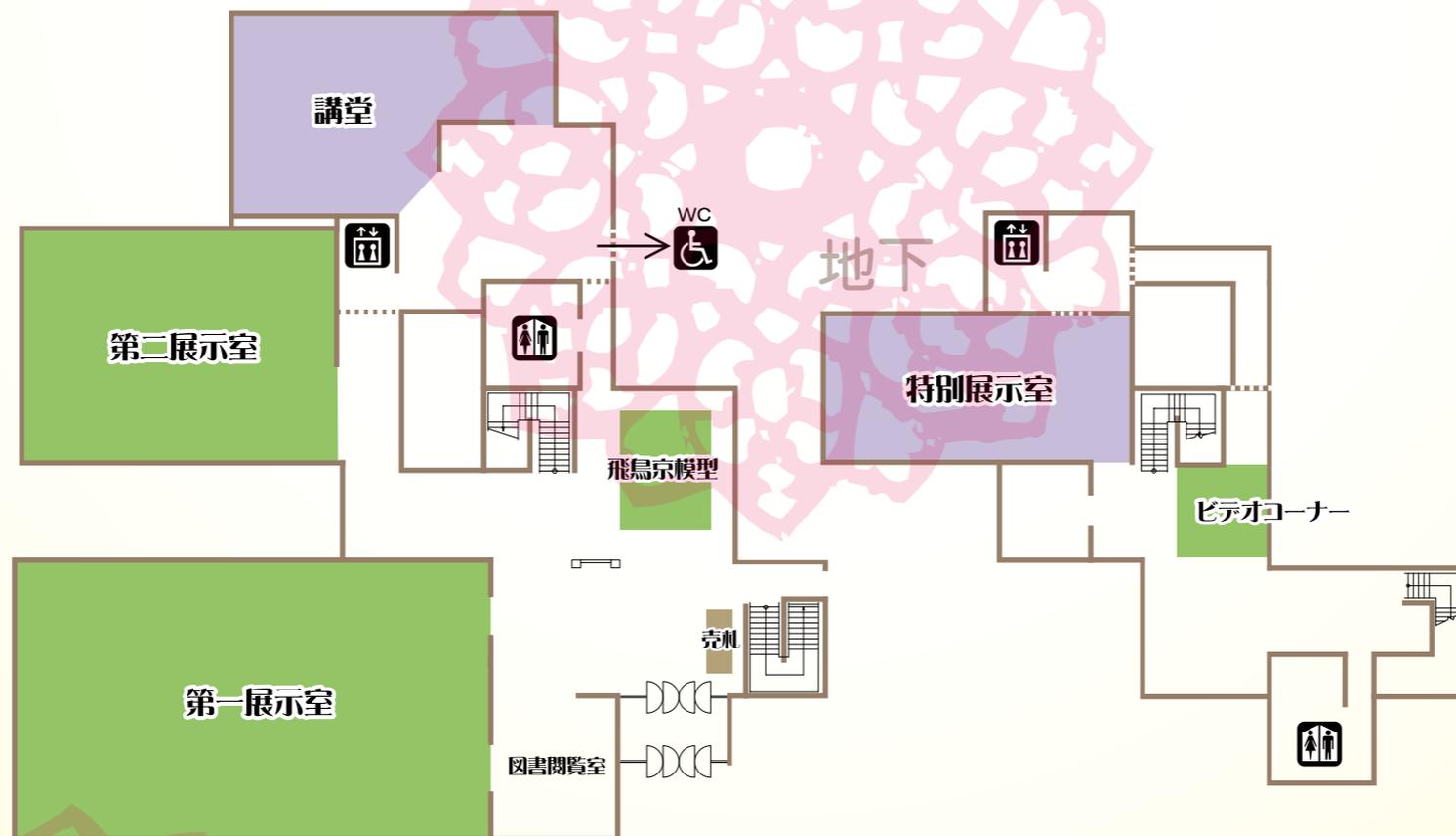
飛鳥の歴史と文化について、考古資料、美術資料、写真パネルなどで解説しています。

第一展示室脇の図書閲覧室では、資料館の図録や各種の古代史の関連図書を自由に読むことができます。

## 特別展示室・講堂

特別展示室では季節ごとに特別展や企画展を開催しています。講堂では特別講演会や、団体様向けの解説を行っています。

1階



## 庭の展示

亀石、猿石が集まり、小川を渡ると石人像、酒船石、須弥山石など、飛鳥の石造物の往時の様子をレプリカで展示しています。四季折々の風景も目を楽しませてくれます。



## 第二展示室

1982年の発掘調査で、山田寺東回廊が倒れた状態で地中にうずもれているのが見つかりました。最も状態が良かった柱間3間分の部材を保存処理して、当時の建築構造と規模が分かるように再現しています。



## ビデオコーナー

ビデオ映像で飛鳥の遺跡やキトラ古墳発掘の様子を紹介しています。

## ミュージアムショップ

正門を入ってすぐの建物で図録や飛鳥関連グッズを販売しています。大型のロッカーも設置しています。